

秋保大滝植物園だより No.6 夏号

園内に咲く四季折々の花や色とりどりの実、季節を告げる生きものなどの自然の情報を、季節をおってお届けします。今回は夏の情報です。尚、バックナンバーは仙台市公園緑地協会ホームページ「杜のひろば」よりダウンロードできます。



ウリノキ[瓜の木] 花：6月中旬～クルンと外に巻いた白い花弁と黄色い葯が可愛い。ウリノキ科からミズキ科に変更になった。



ノリウツギ[棚空木] (ノリノキ・サビタ) 花：6～7月 日あたりを好む。葉は対生、時に3輪生する。両性花と、装飾花をつける。ユキノシタ科からアジサイ科に変更になった。



ダイコンソウ[大根草] 花：7～8月 根生葉が大根の葉に似ていることからついた。花は目立たないが、花のあとの、S字状に曲がった花柱は面白みがあり、それもまた良い



ヤイトバナ[灸花] (ヘクソカズラ) 蔓草 花：7月下旬～8月 林のふちや藪などに多く生える。全体に悪臭がある。



クマイチゴ[熊莓] (実) 実：6月下旬～7月上旬 トゲが多い。実は球形で赤く熟し食べられる。甘く香りも良い。



エゴノキ (チシャノキ) 花：6月 日本全国にいろいろな呼び名があり親しまれている。樹皮はなめらかで暗紫褐色をしている。



ミソハギ[溝萩] 花：8月 秋保地区の湿地帯でも野生種を見ることが出来る。茎は直立する。園内の彩(いろ)とどりの花畑にあり。



アメリカヤマゴボウ[米国山牛蒡] (ヨウシュヤマゴボウ) 帰化 花：7月中旬～8月 各地の空地や造成地などに雑草化している。大型になる。有毒。



シチダンカ[七段花] 品種 花：6月下旬～7月中旬 装飾花の萼片が重弁になったヤマアジサイの一種。六甲で発見された後に全国で栽培されるようになった。



オオマツヨイグサ[大待宵草] 帰化 (ツクミソウ) 花：7月～9月 全国各地に野生化していたが、アレチマツヨイグサに追われ減っている。夕方に咲き始める。四季の散策路にあり



オノエマンテマ 園芸品 花：6月 ヒマラヤ山麓原産。別名をヒマラヤカスミソウといい、小さな白い花を沢山咲かせる。小さな高山区にあり。



ユウゼンギク[友禅菊] 園芸品 花：8月～9月 北アメリカ原産。葉は細長い線状被針形。群がって咲く花が美しい。



ミツデイワガサ[三ツ手岩傘] バラ科の低木で、コデマリのような花を咲かせる。アジアンタム(シダ)のような葉が特徴。



ノアザミ[野薊] 花：5月 北海道以外の山野に、もっとも普通に見られる。春に咲くアザミは少ないので間違にくい。葉の先端はトゲになっている。



オオヤマオダマキ[大山苧環] 花：5月下旬～6月 ヤマオダマキの変種。ヤマオダマキより大型になる。距が内側に巻き込むことで区別できる。



ネジバナ[振花] (モジズリ) 花：7月 ねじれた花の姿をそのまま名前にした多年草。



タカネバラ[高嶺薔薇] (タカイネバラ) 花：5月下旬～6月上旬 高山の日当たりに生える。枝に細いトゲが多い。



ツルリンドウ[蔓竜胆] 花：8月 釣り鐘型の花を咲かせ、晩秋には、赤い実をつける。



アイタケ[藍茸] キノコ 発生時期：8月 夏を代表するベニタケ科のキノコ。緑色のモザイク模様が特徴。



ヒグラシ[蛸] 昆虫(羽化前) 繁殖時期：7月～8月 鳴き声からカナカナゼミとも呼ばれる中型のゼミ。晩夏の蟬のイメージがあるが、ハルゼミ、ニイニイゼミに続き羽化する。